

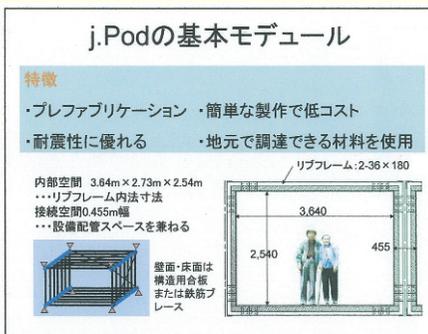
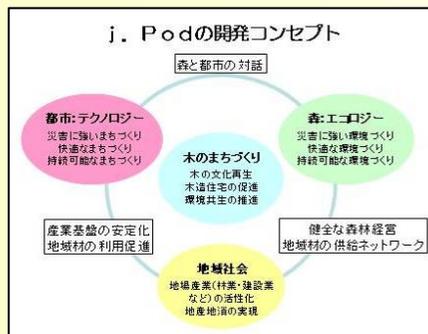
大学研究林の間伐材の活用による施設整備

・本学研究林の間伐材を有効利用し、本学の特許取得である独自工法「j-Pod」による施設整備

事業内容

j-Pod (新たな木造建築工法)

スギやヒノキなど人工林で生まれる間伐材を利用し、全く新しい木造建築の工法を京都大学、(株)鴻池組、トリスミ集成材(株)、John Barr Architectにより共同開発された木造モノコックユニット工法が「j-Pod (ジェイ・ポッド)」である。



j-Podシステムの特徴

モノコック構造 (耐震性)

軽量で強固な構造体なので耐震性に優れている。住宅をはじめとして種々の用途に対応可能である。

簡易なシステム (施工性・コスト)

建設方法が簡易なので施工期間の短縮が可能であり、建設コストを削減することができる。多種構造との併用により、3階建て以上の高層化も可能である。

モジュールの統一 (品質の確保)

ユニットのモジュールが統一されているので設計の簡略化を図ることができ、品質を一定に保つことが可能である。

製材の利用 (地域材の利活用)

主構造材は小径製材の単一寸法で構成されるため、間伐材などの地域産木材を使用しやすい。

期待される成果

- ・間伐材など地域産木材の活用を図ることで、地産地消の推進、林業の復活、優良木材の育成、森林の再生、環境保全、災害時の地域の保全等に期待される。
- ・自然環境に優しく、森の再生と都市の再生「森と都市の対話」を基調に、京都と京都大学から人と自然の共存を展望した“木の文化再生”への広がり。

導入のポイント

- ・j-Podの基本モジュールに則した平面計画
- ・簡易なシステムであり、工期短縮が可能

施設概要

- ①施設名 ②構造・階数 ③延床面積 ④使用開始 ⑤部屋構成



- ①教育研究棟
- ②W2
- ③78㎡
- ④平成17年4月
- ⑤講義室



- ①白浜海の家
- ②W1
- ③199㎡
- ④平成20年7月
- ⑤宿泊室

- ①実験モデル棟
- ②W1
- ③41㎡
- ④平成17年4月
- ⑤セミナー室



- ①国際交流セミナーハウス
- ②W1
- ③91㎡
- ④平成18年8月
- ⑤セミナー室

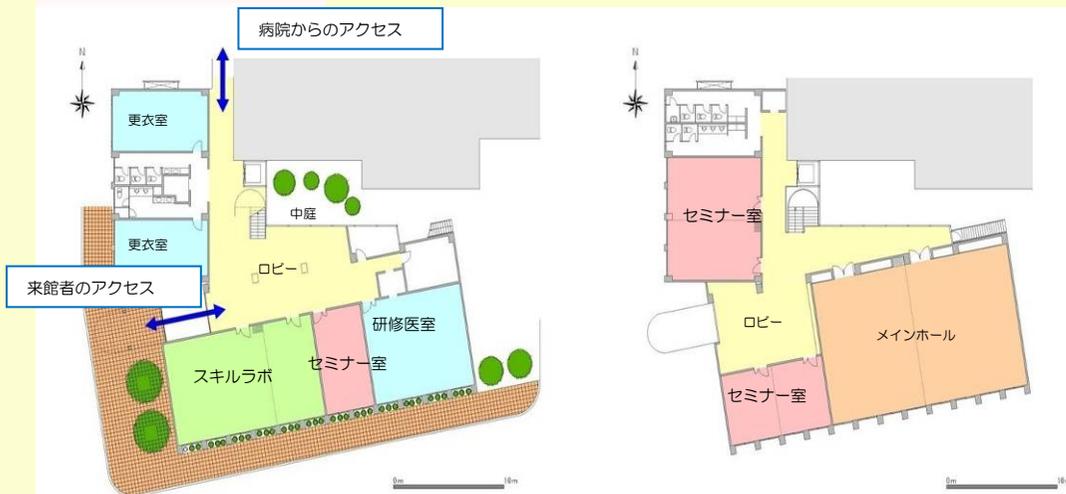


※上記学内施設4棟以外に、兵庫県営住宅や滋賀県某社オフィス、個人宅等にてj-PODシステムが採用され、今後も幅広く活用されていくものである。

寄附による教育・研究施設の整備

- ・病院臨床教育研修センター設置に向けた寄附金による建物整備

建物平面



施設概要



事業による効果

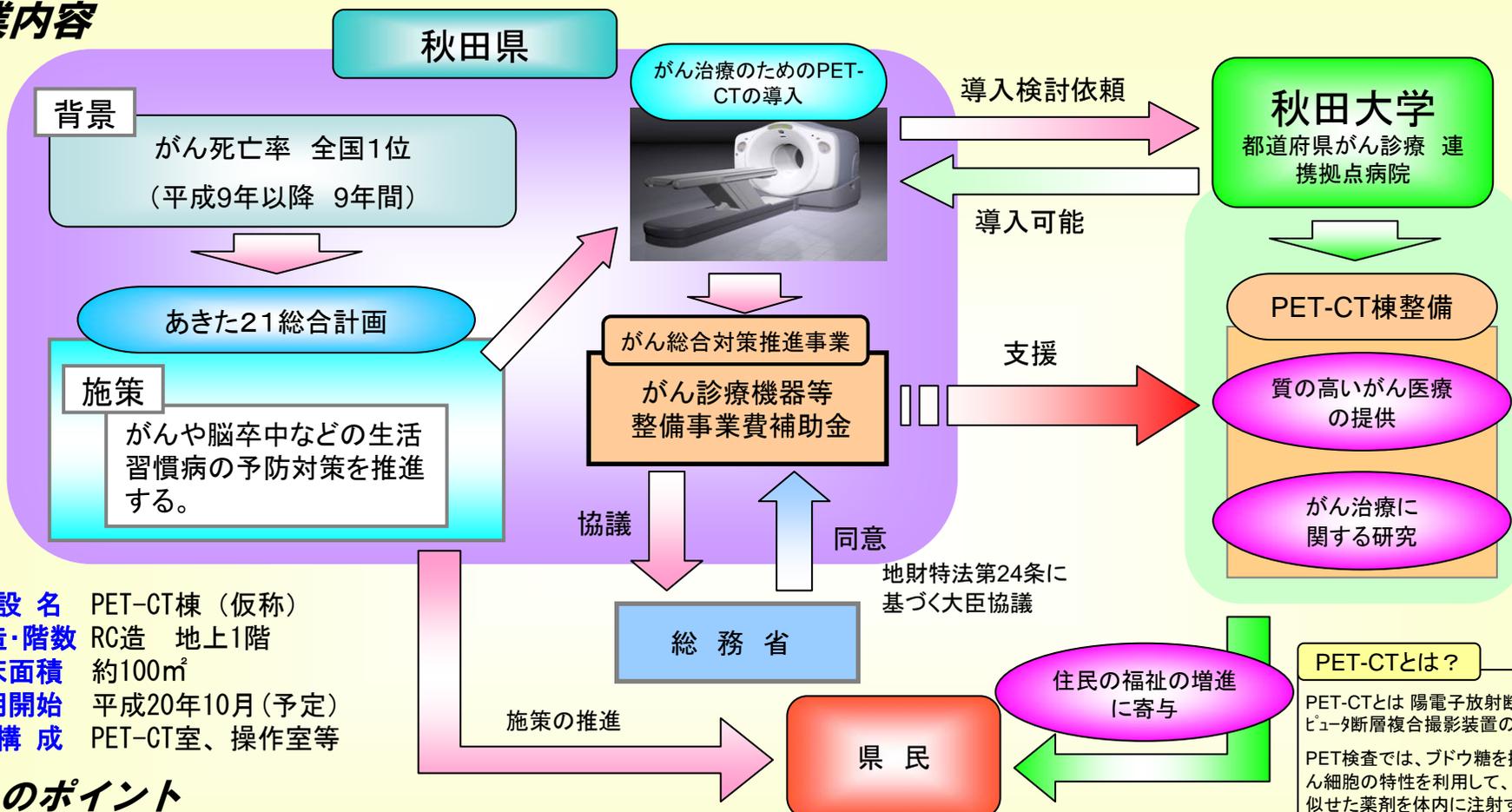
- ・研修医、専門医及び看護師の研修環境を整備し、より質の高い教育が実践できる
- ・大学病院職員及び地域の医師・看護師・コメディカル等のスキルアップを支援し、日々進歩する高度な医療・技術に柔軟に対応しうる人材の育成ができる
- ・大学と地域の医療関係者の交流促進を図る事ができる
- ・医療の未来を担う人材、地域の医療を支える人材育成の拠点となる

施設名	臨床教育研修センター
構造・階数	RC造 地上2階
延床面積	1,100㎡
使用開始	平成21年4月予定
主要室	スキルラボ、メインホール セミナー室、研修医室 ロビー、更衣室、WC
事業費	300,000千円(備品含む)

地方公共団体からの補助金によるがん診療機器及び施設の整備

- ・PET-CT導入に係る事業費(機器及び施設費)が、秋田県から「がん診療機器等整備事業費補助金」として交付された。
- ・都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受けている本学において、PET-CTを導入することにより、県内における質の高いがん医療の提供と、がん治療に関する研究が可能。

事業内容



施設名 PET-CT棟 (仮称)
構造・階数 RC造 地上1階
延床面積 約100㎡
使用開始 平成20年10月(予定)
屋構成 PET-CT室、操作室等

導入のポイント

・地方財政再建促進特別措置法第24条では、地方公共団体から国立大学法人への寄付等の支出はできないが、同法同条による「あらかじめ総務大臣に協議し、その同意を得たものは、この限りではない」とのことから、秋田県が総務大臣と協議した結果、支出可能となった。

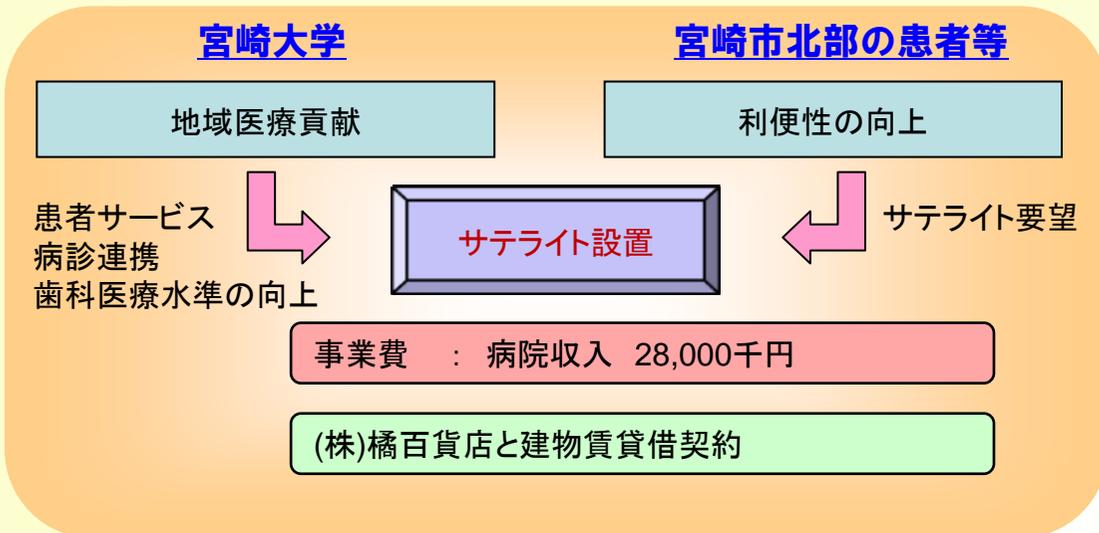
PET-CTとは？

PET-CTとは 陽電子放射断層・X線コンピュータ断層複合撮影装置のこと。
 PET検査では、ブドウ糖を摂取するがん細胞の特性を利用して、ブドウ糖に似せた薬剤を体内に注射することで、薬剤ががん細胞に集まるところを画像化し、がんの有無や位置を調べるもの。

借用による歯科口腔外科サテライトの整備

・患者サービスの向上や地域医療への貢献を図るため、宮崎市の中心部の商業施設8階の一部を借用し(大学の敷地外)、宮崎大学附属病院のサテライト歯科として整備する。

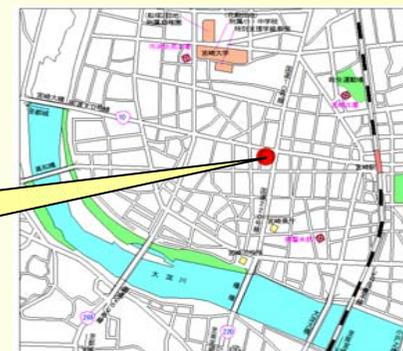
事業内容



施設概要

施設名 宮大病院橋通歯科口腔外科クリニック
 構造・階数 (SR8)
 借用面積 126㎡
 使用開始 平成19年12月
 部屋構成 診察室、待合室
 借用料金 420千円/月

本施設位置
 ホンバルタ橋東館



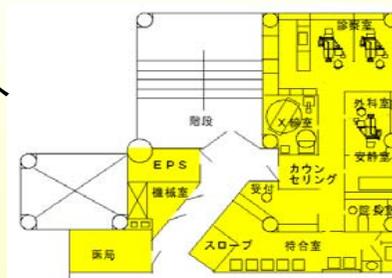
宮崎市地図

期待される成果

・宮崎市中心という立地条件から、宮崎市北部の患者や地域歯科医からの紹介患者の利便性が向上するとともに、地域歯科医との病診連携が強化され、地域への貢献と歯科医療水準の向上が期待される。

導入のポイント

・これまで附属病院を訪れた患者さんや紹介元開業歯科医から「市内中心部に診療所を設置してほしい」との要望があったこと、より密度の濃い医病診連携を積極的に図るため、設置することとなった。



クリニック平面図

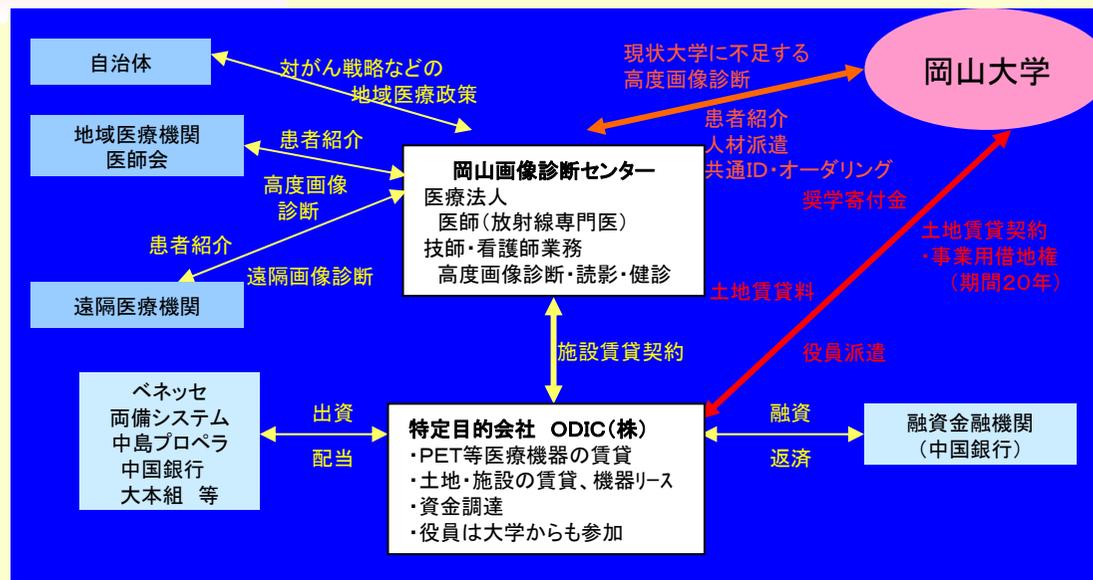


クリニック内観

企業が共同出資する特定目的会社による医療施設の整備

- ・岡山県内の財界関係者や企業が共同出資し、岡山大学所有地に画像診断センターを設置
- ・高画像診断の導入で大学、地域、遠隔地を含んだ医療レベルの向上

事業内容



施設概要



施設名	岡山画像診断センター
構造・階数	RC造 地上4階 地下1階
延床面積	2,000㎡
使用開始	平成18年4月
診断装置	PET-CT装置 高速MRI検査装置 高速多列エックス線CT

事業によるメリット

- ・PETなどの高額な高度画像診断装置購入のための経済的な負担がない。
- ・機器の不足による検査待ちが解消され、患者サービスにつながる。
- ・センターで利潤が生じた場合、奨学寄附金等で大学に還元される。
- ・大学が直接関与する医療機関を学外に設置し大学病院への患者の吸収を図る。

導入に当たってのポイント

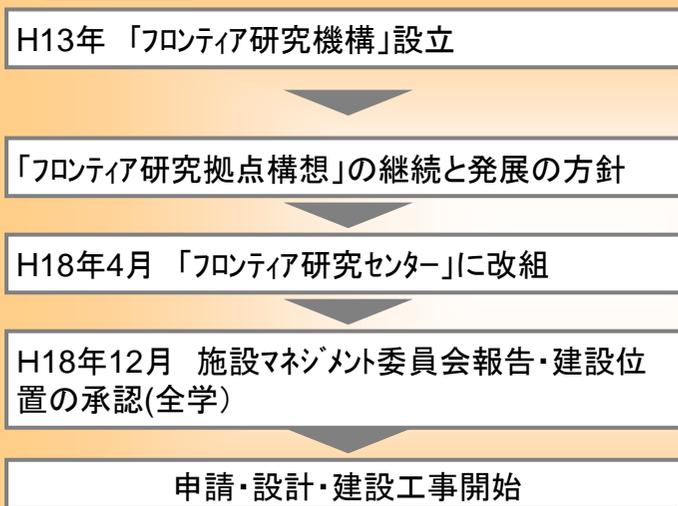
- ・出資者となる特定目的会社、運営に当たる医療法人、放射線専門医を派遣する大学側の綿密な連携が必要。

個人からの寄附及び間接経費による研究施設の整備

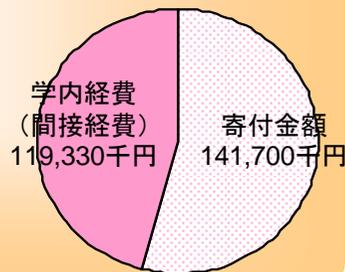
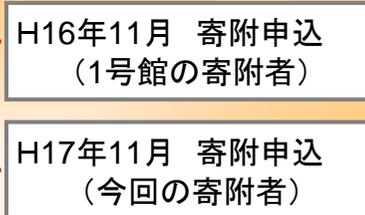
- 共同研究プロジェクトを展開する「フロンティア研究棟2号館」の建物寄附
- 材料学とその周辺分野の教育研究や、先端基礎研究をもとにした高度なものづくりの発展を目指す。

事業内容

大阪大学



個人寄附者



施設概要



施設名 フロンティア研究棟2号館 (奥は1号館)

構造・階数 S造 地上4階
 延床面積 1,230㎡
 使用開始 平成19年11月
 部屋構成 研究室、オープンホ

期待される成果

- ・新しい産学連携制度である『共同研究講座』を実践する場の創成。

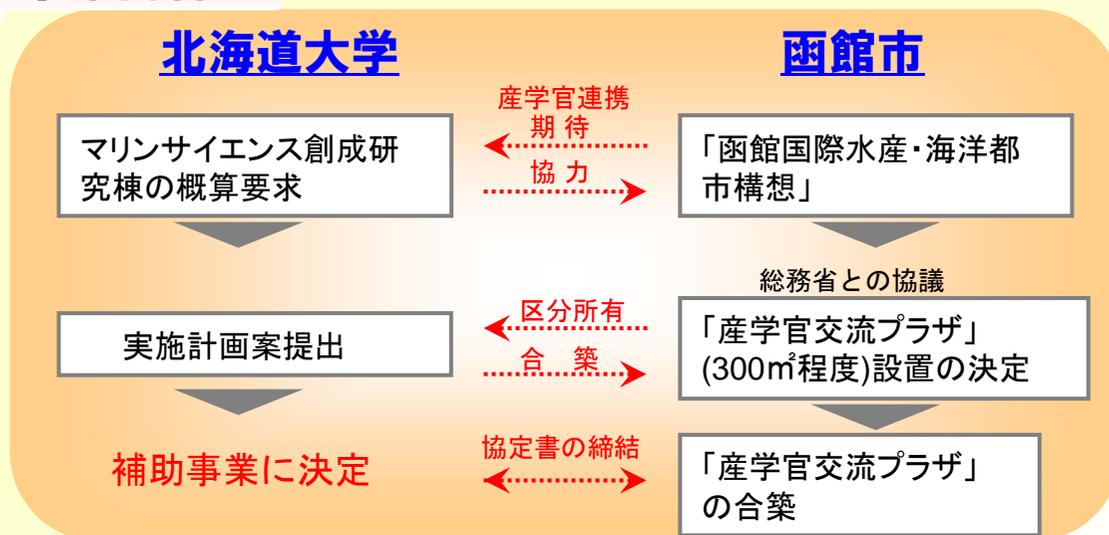
導入のポイント

寄附案件は寄附条件の整理、建設位置のマスタープランとの整合性の整理、寄附建物で行う研究内容の精査、受入後の維持管理体制の整理等を短時間でを行う必要があるため、計画的な手続きが必要である。

函館市の施設との合築による教育研究施設の整備

- ・函館市の「産学官交流プラザ」と北海道大学の「マリンサイエンス創造研究棟」を水産学部キャンパス内に合築整備
- ・施設を北海道大学と函館市で区分所有し、建設・管理・運営を実施

事業内容



事業によるメリット

- ・北海道大学：本施設で行う大型プロジェクトや民間企業との独創的な共同研究により、水産学研究のレベルアップが期待できる。
- ・函館市：市民一人ひとりの水産・海洋に関する意識を高め「函館国際水産・海洋都市構想」の核となる施設を整備することにより、地域の活性化を図る。

導入に当たってのポイント

- ・整備方法及び区分所有や維持管理などについて、自治体との十分な話し合いが必要。

施設概要

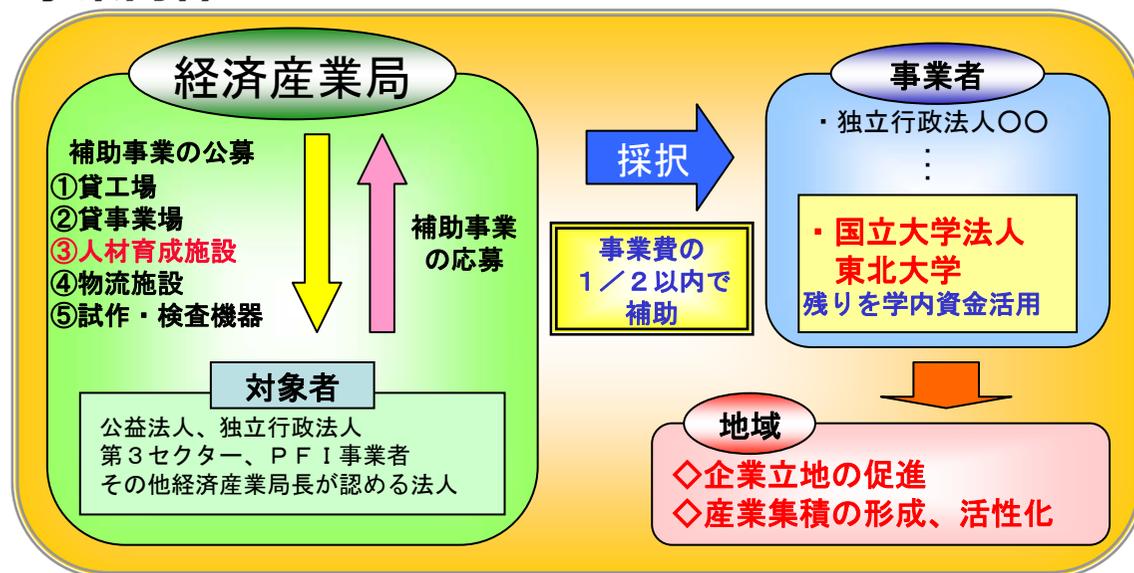


- 施設名** マリンサイエンス創成研究棟／函館市産学官交流プラザ
- 構造・階数** RC造 地上3階
- 延床面積** 2,303㎡
 (北海道大学 1,921㎡
 函館市 382㎡)
- 使用開始** 平成18年3月
- 屋構成** 交流プラザ
 セミナースペース
 事務室
 オープンラボ
 バイオハザード室
 クリーンルーム
 リフレッシュスペース

地域企業立地促進等共用施設整備費補助金による人材育成施設の整備

- ・ 地域企業立地促進等共用施設整備費補助金と学内資金を活用した
産学連携による人材育成施設の整備

事業内容



完成予想図

施設名 産学連携産業技術研究拠点

構造・階数 SR造 地上4階
延床面積 3,500㎡
使用開始 平成22年4月(予定)
室構成 実験室等

期待される成果

- ・ 企業の博士号取得者の増やし、企業間競争を支える人材を育成。
- ・ 大企業の新産業創出能力の育成、中小企業の技術・事業の高度化。
- ・ ベンチャー企業等が育成され新たな産業の創出。

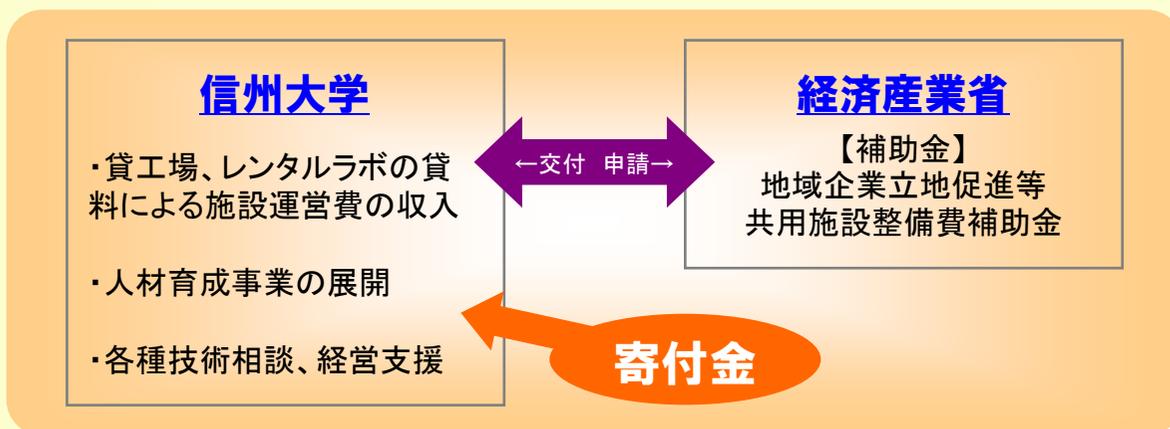
導入の要因

- ・ 学術研究機能の集積及びその高度な研究シーズを有効活用し、「ものづくり産業」の集積推進に不可欠である創造力と実践力を兼ね備えた人材の育成を目的とした人材育成施設の整備が必要である。

経済産業省の補助金を活用し、信州科学技術総合振興センターを整備

- ・ 経済産業省の「地域企業立地促進等共用施設整備費補助金」及び工学部60周年記念事業の寄付金による整備

事業内容



期待される成果

- ・ 既に長野市により設立、運営されている「長野市ものづくり支援センター(UF0-Nagano)」の機能を補完し、相乗効果により長野(工学)キャンパスをして善光寺平地域のイノベーション創出拠点となる。

導入のポイント

- ・ 企業立地促進法の規定に基づき地元自治体等が作成し、国の同意を受けた「善光寺平地域の基本計画」の集積区域内に、地域産業のイノベーション創出拠点施設を建設するため、経済産業省の地域企業立地促進等共用施設整備費補助金を獲得したこと。
- ・ 工学部60周年記念事業として募った寄付金を活用し、地域産業に貢献する施設の建設を行うこととした。

施設概要

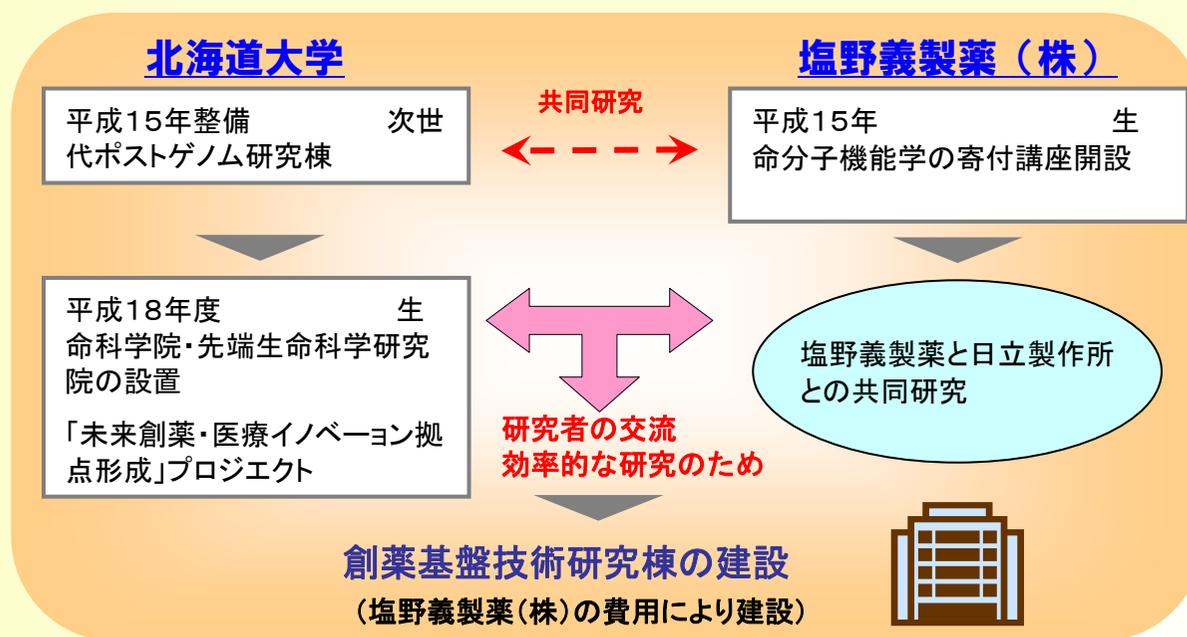


施設名	信州科学技術総合振興センター
構造・階数	S造 地上3階
延床面積	2,332㎡
使用開始	平成21年10月
部屋構成	貸工場、レンタルラボ 技術相談経営支援室
利用料金	2,100円/㎡

定期借地権（事業用）を利用した製薬会社による研究施設の整備

- ・新借地借家法の事業用借地権（新法24条）による建物の整備
- ・創薬研究のための知的基盤の構築～人材交流, 人材育成

事業内容



施設概要

施設名 創薬基盤技術研究棟
構造・階数 RC造 地上5階
借地面積 2,172 m² (有償)
延床面積 2,793 m²
 北海道大学: 639 m²
 塩野義製薬(株): 2,154 m²
使用開始 平成20年4月
部屋構成 実験室, 研究室



東面外観



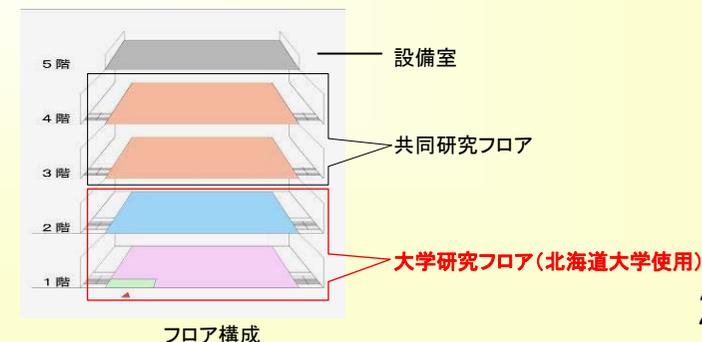
プロジェクト研究実験室

期待される成果

- ・研究棟の一部(最大50%の範囲)を北海道大学が使用できる。
- ・期間満了(20年)後, 無償で譲渡を受けることができる。
- ・産学連携施設として, 今後の研究教育や技術開発の伸張が期待される。

導入のポイント

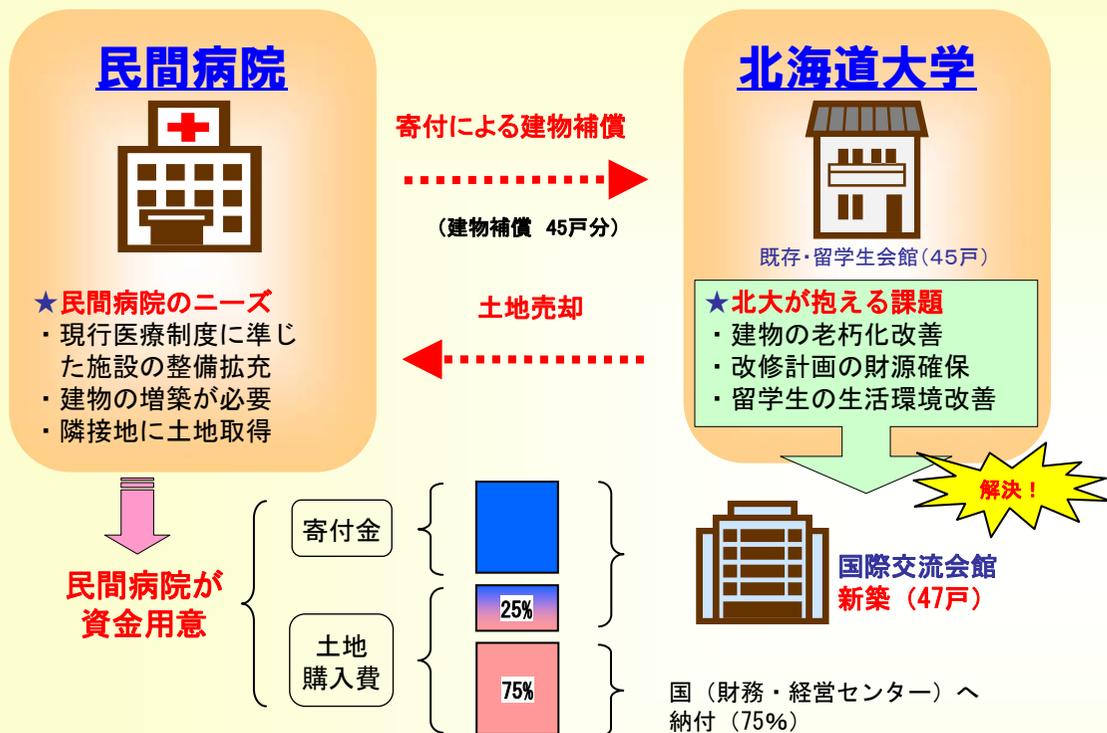
- ・定期借地権の設定及び管理運営, 維持管理等について十分な検討が必要。



民間病院からの留学生会館の現物寄附

- ・民間病院の土地買収ニーズと大学の施設改築整備計画との一致による留学生宿舎整備

事業内容



期待される成果

- ・留学生受入れ体制の推進
- ・留学生の生活環境の改善
- ・建物及び設備機器等の経年劣化解消。

導入のポイント

- ・売却先を特定する（随意契約）理由が必要。
- ・寄付金（建物補償）と売却費による整備を併せて整備する仕組みの検討が必要。

施設概要

施設名	桑園国際交流会館E
構造・階数	RC造 地上5階
延床面積	1,191㎡
使用開始	平成20年4月
部屋構成	居室(47室), 談話室, 管理人室等
利用料金	18,000円/月



東南面外観



居室



談話室

長期借入金による学生寄宿舍の整備

・長期借入金制度を活用した学生寄宿舍の新築整備

事業内容

- I. 学生寄宿舍の不足・入居期間延長の要望に対して、長期借入金による学生寄宿舍新築整備を検討した
- II. 施設マネジメント検討部会を中心にして、基本計画（6階・96戸）を策定した
- III. 長期借入金による事業概要
 - ・総事業費：404,000千円 ・自己資金（目的積立金）：234,000千円
 - ・借入金額：170,000千円 ・借入先：民間金融機関（予定）
 - ・償還期間：15年（予定） ・利率：2.5% 当初10年間金利固定（予定）
 - ・償還方法：月賦元金均等償還（予定）
- IV. 平成21年3月に竣工、4月より入居

期待される成果

- ・学生寄宿舍の不足解消
- ・学生寄宿舍整備による女子学生の確保
- ・世帯所得の低い学生への支援

導入のポイント

長期借入金制度の活用

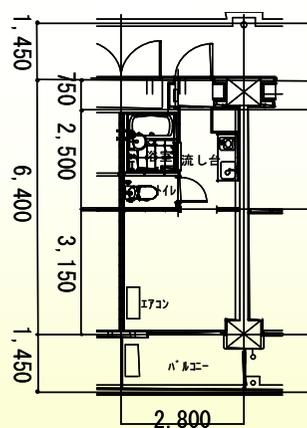
- ・借入金償還には寄宿料収入を充てる
- ・総事業費の低減、自己資金の投入による、借入金額の抑制（寄宿料を安価にできる）

寄宿料の設定

- ・ワンルームアパートと同じ水準で、民間の半額程度

施設概要

施設名	学生寄宿舍
構造・階数	RC造 地上6階
延床面積	1,998㎡
使用開始	平成21年4月（予定）
部屋構成	96戸（一般95戸/身障者1戸） <ul style="list-style-type: none"> ・ミニキッチン ・浴室/トイレ ・エアコン ・インターネット回線
利用料金	20,000円/月（寄宿料）



個室プラン詳細図



完成予想図(イメージ)